



山梨県立農林高等学校 森林科学科

定員 30 名

山梨県立農林高等学校は、今年度創立 114 周年を迎えた山梨県唯一の農業専門高校です。数回の学科改編を経て、現在は森林科学科を含め 5 つの学科が設置されています。学舎に鳴り響く「農村黎明の鐘」、正門を入るとヒマラヤ杉に囲まれたフランス式庭園から、本館屋上に聳え立つ鐘楼を望む風情は本校自慢の一つです。「農村黎明の鐘」は朝と夕に鳴り、全員が朝に祈り夕に感謝の黙祷を捧げています。

森林科学科では、県内の森林・林業関連事業所に協力していただき、長期間企業で実習を行うデュアルシステムによる作業路作設実習、植林実習、シカ防護柵設置実習等のほか、高性能林業機械研修、林業職場見学会、炭焼き実習、林業就業支援講習（インターンシップ）、校外測量実習、デジタルコンパス研修、チェーンソーメンテナンス、ロープワーク講習、演習林実習、間伐体験実習等、多くの体験実習を行っています。このような体験実習を行うことにより、生徒は森林・林業に対する興味関心を深めています。これからも、山梨県の森林・林業を支える高い志を持った人材を輩出できるように努めます。

生徒の声 森林科学科科 3 年

私は、高校入学時より森林・林業に興味がありました。2 年生の時、林業就業支援講習に参加し、刈払機とチェーンソーの取扱いを学びました。3 年生の時、企業で長期実習を行うデュアルシステムを体験し、社会常識を知り、自分自身の不足している所がわかりました。また、一步でも速く行動する積極性を学びました。そして、会社の方々と共に仕事をし、社会の上下関係を知りあいさつや礼儀の大切さもわかりました。私は、実習先に内定をいただきました。仕事の一連の流れがわかりましたので安心して就職できます。私は、農林高校の森林科学科で学べて本当に良かったと思います。



作業路作設実習



植林実習



シカ防護柵設置実習



高性能林業機械研修



林業職場見学会



間伐体験実習



愛知県立安城農林高等学校 森林環境科

定員 40 名

安城農林高等学校は明治 34 年に愛知県立農林学校として創設され、今年度で創立 117 周年を迎える歴史と伝統のある農林高校です。

森林環境科では 2 年生から、環境保護や造園緑化技術等を学ぶ「環境緑化コース」と、森林資源の育成や木材利用技術等を学ぶ「森林利用コース」とに分かれて専門的な学習を行っています。

林業関係の授業については、最新レーザー加工機等を利用した木材加工実習や、2つの演習林を活用した植栽、森林整備（下刈り、枝打ち、間伐）、製炭などの実習を行っています。近年では、地元の林業事業者等を講師に迎え、高性能林業機械の操作体験やツリークライミング体験を行うなど、林業への関心を高める教育にも力を入れています。

平成 29 年度の卒業生では、女子生徒が地元森林組合へ就職しているほか、林業・緑化・木材加工等の事業者へ就職するなど、地域林業に貢献する人材を輩出しています。

同校は、大型特殊自動車運転免許などの各種資格が取得できるほか、平板測量競技会の実施や、海外友好校との国際交流など、生徒の可能性を伸ばす多様な活動も行っています。

生徒の声 森林環境科 2 年

森林環境科では、普通科では学ぶことのできない森林や林業、造園についての専門的な知識・技術について学ぶことができます。私が専攻する森林利用コースでは、演習林で間伐したヒノキを使用して椅子やキッチンラックなどを製作しています。授業で学んだことを実習に生かすことで技術が上達していくことを実感できてとても充実しています。今後もさらに森林や林業について知識を深めていきたいです。



造園実習



木材加工実習



枝打ち実習



チェーンソー手入れ体験



ツリークライミング®体験



高性能林業機械の操作体験